

# SDGs 宣言書

弊社は創業 180 年以上の歴史を持つ老舗酒蔵という強みを活かし、日本酒造りの伝統文化と技術を守りつつ、信頼される酒造りを通じて、持続可能な社会の実現に向けて、以下の S D G s の取組を行うことをここに宣言します。

2023 年 10 月 1 日  
長谷川酒造株式会社  
代表取締役 長谷川葉子

## SDGsへの取組み



### 人権・労働



ワークライフバランス    女性の活躍    人材育成    雇用の創出

#### 《具体的な取組み》

- ・杜氏の正社員化や、適材適所の役割分担、女性社員のライフスタイルに合わせた働き方改革を推進することで従業員がやりがいを持って働く職場環境を実現しています。
- ・杜氏・蔵人育成のため、清酒学校の学費や各種資格取得費用を支出するなど人材育成に注力しています。
- ・障害者支援施設にギフト箱の組立を依頼するなど、障害者の社会参加の促進と雇用創出に貢献しています。

### 製品・サービス



地産地消    3R    持続可能な産業化

#### 《具体的な取組み》

- ・信濃川の伏流水を仕込み水とし、県内産の米を主に使用した酒造りを行っています。製造時に発生する酒粕は、食品加工業者へ卸したり、肥料やお菓子作りに使用するなど 100% 再利用しています。
- ・一升瓶にリサイクル瓶を使用することで循環型社会の実現に貢献しています。
- ・機械に頼らない手作業にこだわる製造方法で環境負担の少ない持続可能な産業化の促進を図ります。
- ・日本の伝統技術・文化である日本酒造りを未来へ継承し続けていきます。

### 製品・サービス



地域の活性化    地域社会からの信頼    持続可能な街づくり    パートナーシップ

#### 《具体的な取組み》

- ・地域の酒蔵と連携し、蔵開きや長岡酒の陣などの観光イベントの開催や、中越地震の被災経験を活かした災害に強い街づくりに取り組んでいます。
- ・小学生の社会科見学の受け入れや、地元農業高校の授業で生産された米を酒造りに使用するなど、地域の活性化に取り組んでいます。
- ・明治時代に建てられた国の登録有形文化財に指定されている母屋の、その姿を保ち続けていくことで、日本酒および日本の文化を世界に伝えています。
- ・地元、摂田屋のイラストレーターによるデザインラベルの「四季を旅するお酒」や、「長岡城」などの製品を通じ、長岡の魅力をアピールしています。